



投資家・国民の皆さま

WEB はウェブサイトのみに掲載している記事を示しています。

▶ 透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

低利率かつ安定的な資金調達

- ▶ [道路建設資金の安定的な調達に努めています](#)

外部評価による透明性確保

- ▶ [事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています](#)

▶ ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

- ▶ [毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています](#)

投資家・金融機関の皆さまとの対話

- ▶ [事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています **WEB**](#)
- ▶ [投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています **WEB**](#)

地域住民の皆さまとの対話

- ▶ [高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています **WEB**](#)
- ▶ [「なるほど！高速道路発見」現場見学会を開催しました **WEB**](#)

▶ 不正通行対策

基本的な取り組み

- ▶ [防止対策や啓発の強化によって、不正通行件数は年々減少しています](#)
- ▶ [不正通行調査隊を組織しています **WEB**](#)

▶ メディアを通じた情報発信

ウェブサイトでの情報発信

- ▶ [より使いやすく、きめ細かな情報提供を目指して改良を重ねています](#)
- ▶ [お客様の要望も踏まえ、料金・経路検索サイトを使いやすくリニューアルしました **WEB**](#)

集中工事情報の広報

- ▶ [快適にご利用いただけるよう、広報と説明を徹底しています **WEB**](#)
- ▶ [多様なメディアを活用した広報を実施しています **WEB**](#)



投資家・国民の皆さま 透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

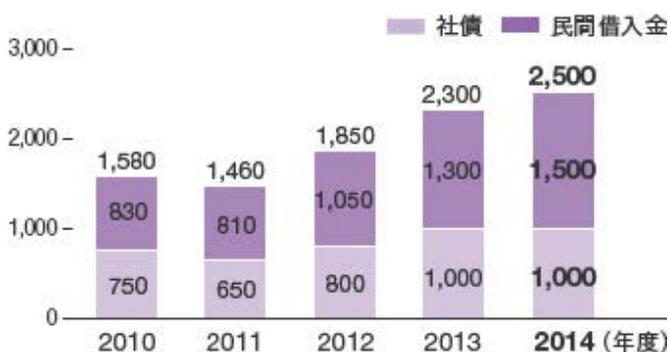
低利率かつ安定的な資金調達

道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業の遂行に必要な資金については、社債の発行や民間金融機関からの借入等によって調達しています。

高速道路事業は建設から管理まで長期にわたる事業となるため、低利率かつ安定的に調達できるよう努めています。

▼資金調達の推移(単位:億円)



外部評価による透明性確保

事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

NEXCO西日本では事業の効率性・透明性の向上を図るため、社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。毎年1回開催し、当社の高速道路事業について第三者の立場から評価をいただき、今後の事業計画に役立てています。委員会の開催状況はウェブサイトでも公開しています。

2014年度 事業評価監視委員会 委員

○ 常任委員

帯野 久美子〔(株)インターアクト・ジャパン 代表取締役〕

斎藤 峻彦〔近畿大学名誉教授〕＝委員長

田辺 貞夫〔(社)関西経済連合会 常務理事・事務局長〕

戸田 常一〔広島大学大学院教授〕

中瀬 勲〔兵庫県立人と自然の博物館 館長〕

○ 特別委員

植松 岳〔一般社団法人九州経済連合会 常務理事〕

中野 晋〔徳島大学大学院教授〕

2014年度 事業評価監視委員会 事業評価対象事業

○ 再評価

四国横断道(徳島東～徳島JCT)4.7km
東九州道(椎田南～宇佐)28.3km
新名神(大津JCT～城陽JCT)25.1km
新名神(城陽JCT～高槻第一JCT)14.2km
新名神(高槻第一JCT～神戸JCT)40.5km
計5事業112.8km

○ 事後評価

西九州道(佐世保中央～佐世保大塔)7.8km
山陰道(宍道JCT～出雲)18.2km
計2事業26km

※1 再評価:採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年経過した時点で継続中もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

※2 事後評価:事業完了後5年以内に事業の効果などを確認し、事業の成果に対する説明責任を果たすとともに、必要に応じて適切な改善措置を講じ、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しにも反映します。

■ 関連ページ

▶ [平成26年度 西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会](#)



投資家・国民の皆さま 不正通行対策

基本的な取り組み

防止対策や啓発の強化によって、不正通行件数は年々減少しています

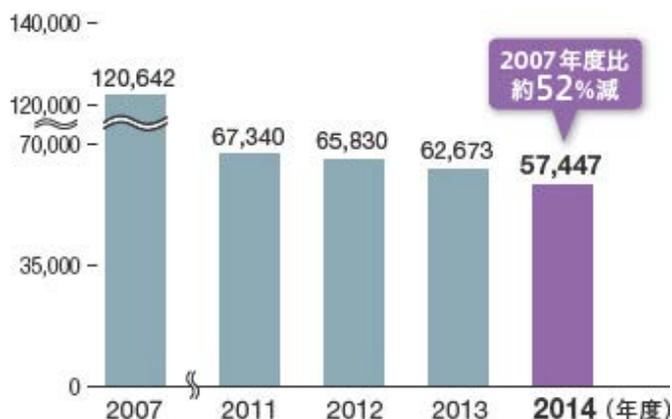
有料道路事業は、道路をご利用されるすべてのお客さまから公平に通行料金をご負担いただくことで成り立っています。

レーンを強行突破するなど不正に通行料金の支払いを免れる行為(不正通行)は、公平性の原則を揺るがす犯罪行為です。

そこで、当社では、毎年「不正通行対策強化月間」を設けて、警察との合同取り締まりをはじめとした各種取り組みを実施しています。また、ETC  の利用方法を含めた不正通行事前防止の啓発活動も行っています。こうした取り組みによって、不正通行件数は年々減少しています。

今後も「不正通行は断固許さない」という毅然とした態度で、悪質な不正通行の分析調査に注力するとともに、警察の捜査にも積極的に協力し、その撲滅を目指していきます。

▼不正通行件数[※]の推移(単位:件)



※不正通行発生件数:後日課金申し出のあった車両を除き、通行料金を支払わず料金所を突破した車両の通行件数。ETC通信ができなかったことに気づかず、未課金のまま通過してしまった車両(ETC未課金車両)も含む。

さまざまな不正通行対策



「お知らせアンテナ」を設置し、ETCカード未挿入等による未精算通過を防止

不正通行を防止する開閉バーを一般レーンにも設置



料金所での立哨監視を強化するとともに、警察と連携した取り締まりも推進

不正通行調査隊を組織しています

上記のような不正通行対策のほか、当社では、不正通行者を特定するためのカメラを設置するとともに専門チーム「不正通行調査隊」を組織し、走行のデータ分析や実態調査、警察への通報に必要な証拠収集などを行っています。2014年度には、5件の逮捕・検挙があった他、不正通行者25件を認定し、不法に免れた料金の3倍に相当する額を請求しました。

■ 関連ページ

▶ [NEXCO西日本の事業エリアにおける不正通行の事例](#) 



投資家・国民の皆さま ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

当社グループの経営状況、建設・管理、関連事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。



記者会見

投資家・金融機関の皆さまとの対話

事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

当社では、毎年7月頃に東京で、投資家や金融機関の皆さまを対象に事業説明会を開催し、わかりやすく当社の事業に対する理解を深めていただくよう努めています。質疑応答などを通じて、経営層と直接対話いただく機会とすることで、双方向コミュニケーションの場としても活用いただいています。

2014年度は、43機関85名の社債投資家や金融機関にご参加いただき、企業情報や決算情報に加え、皆さまの関心が高かった新名神高速道路の建設状況及び高速道路の老朽化について、その状況と対応方針を丁寧にご説明しました。

今後も皆さまの関心が高い事項をご説明するなど、より充実した説明会となるように努めてまいります。

投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

年度計画公表時や決算発表時など、時機をとらえて、投資家や金融機関の皆さまが多い東京を中心に個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供に努めています。

今後も、当社の事業に対するいっそうの理解促進を図るべく、積極的な情報提供に努めてまいります。



2014年7月25日の事業説明会

地域住民の皆さまとの対話

高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。

また、説明会や[設計協議](#) の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。

事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を実施し、関係者の十分な納得が得られるまで説明を行っています。



事業説明会（新名神大津事務所）



境界立会（新名神京都事務所）

「なるほど！高速道路発見」現場見学会を開催しました

道路保全事業や建設事業につきましては、これまで、管轄する事務所が個別に学校関係者の方や沿線にお住いの方からの要望に応じて、見学会を開催して参りました。

しかしながら近年、非常に多くのお客さまから見学会開催に関するお問い合わせとご要望をいただいていることに加え、新名神高速道路をはじめとした各地での建設工事が今最盛期を迎えていることから、普段は目にするのできない高速道路の現場を多くの皆さんに見学していただき、弊社の安全安心の取り組みなどを“なるほど！”と発見していただく、現場見学会を開催しました。

見学会の開催にあたっては、専用受付サイト「なるほど！高速道路発見」を2014年11月に開設したほか定例記者会見での紹介や報道機関等への個別説明を実施し、広報にも努めました。見学会は、お申込み多数による抽選の結果、当選倍率が17倍に達するなど非常に多くのお客さまからお申込みをいただきました。



現場見学会



建設見学会の専用受付サイト
「なるほど! 高速道路発見」



投資家・国民の皆さま メディアを通じた情報発信

ウェブサイトでの情報発信

より使いやすく、きめ細かな情報提供を目指して改良を重ねています

当社では、ウェブサイトにおいて、[料金・経路検索サービス](#)、交通情報や渋滞予測情報、工事規制情報などについて、きめ細かな情報提供を心がけています。情報は日々更新するとともに、使いやすいサイトを目指し、改良を重ねています。また、事業内容や記者発表、[IR](#) 情報、調達・お取引情報などについても積極的に公開しています。

お客さまの要望も踏まえ、料金・経路検索サイトを使いやすくリニューアルしました

2014年度は、料金・経路検索サイトを、4月1日からの料金改定に伴ってリニューアルしました。新旧料金を検索できるように変更したほか（現在は対応終了）、お客さまのご要望にお応えして、割引制度の変更に関する情報をサイトのトップ画面に掲載し、「高速道路ガイドマップ」へのリンク掲載も行いました。また、地域の皆さまを対象に積極的に開催しているイベントの実施状況についても、ウェブサイトの専用ページにて掲載しました。その結果、1日あたり約62万件のアクセスをしていただきました。

2015年度も、お客さまからのご意見・ご要望やアンケート結果やウェブサイト分析結果を踏まえて、お客さまのニーズが高い情報を中心にウェブサイトの改良に努めます。



[Facebook](#)

高速道路開通や工事進捗の情報、SA・PA情報を週3回投稿。「いいね！」数は 5012件(2015年3月末現在)

集中工事情報の広報

快適にご利用いただけるよう、広報と説明を徹底しています

当社では、営業中路線の集中工事を実施する際には、お客さまに高速道路を快適にご利用いただけるよう広報を行っており、高速道路をご利用いただくお客さまだけでなく、沿線地域の皆さまや、自治体、交通管理者などの関係機関に対しても、広報と事前説明を徹底しています。

ウェブサイトやリーフレットについては、お客さまが工事情報を詳細に知ることができる広報手段であるため、よりわかりやすく見やすいように心がけるとともに、集中工事の必要性や実施することでの利点なども含めてご理解いただけ

るよう内容の充実を図っています。



リフレッシュ工事特設サイト

多様なメディアを活用した広報を実施しています

集中工事などの広報においては、テレビ・ラジオCMをはじめ、高速道路本線の電光掲示板やSA・PAのハイウェイ情報ターミナル、リーフレット、ポスター、フリーペーパー、ウェブサイト、お客さまセンターなど、あらゆるコミュニケーション手段を活用してお客さまにお伝えしています。



西名阪集中工事をお知らせする、テレビCM